

【るもい農業情報広場】

令和5年3月1日

R5-3月号

QRコードを読み取って  
アクセス!!!

## 今月の技術対策 (畑作編)

留萌農業改良普及センター

TEL : 0164-62-1779 FAX : 62-2474

E-mail: rumoi.nakanoukai1@pref.hokkaido.lg.jp



水稲・園芸編も  
HPで公開中!

### 【融雪促進】

#### 1 融雪促進

まもなく融雪材の散布時期を迎えます。秋まき小麦ほ場や早春に作業を開始するほ場(春まき小麦予定ほ場等)については、早めにほ場の出入り口等の除雪作業を開始し、融雪材の散布作業が遅れないよう準備しましょう。

#### 2 融雪材散布時の留意点 ～融雪材の散布により、融雪は10日以上早まります～

(1) 平均気温が-3℃、最高気温が0℃を超える日が続き、新たな降雪の予報がない時期に散布しましょう(3月上旬と中旬頃の2回散布が効果的)。

(2) ほ場別資材と使用量(1回の散布量)

##### 【pHが低いほ場】

(例) 防散炭カル、防散融雪炭カル 40～60kg/10a

##### 【pHが高いほ場(pH6.0以上)】

(例) 防散融雪材やアッシュなどのアルカリ分が低い資材 40～60kg/10a

(3) 注意点

- ① 均一に散布せず、ムラに散布するほうが効果が高い。
- ② 散布後20cm以上の降雪があった場合、再散布が必要。
- ③ 吹きだまりや日陰、積雪深の深い場所は重点的に散布する。
- ④ 融雪水が停滞しないよう排水対策(排水溝の設置など)を実施する。
- ⑤ 育苗ハウス等への融雪水の侵入を防ぐため、ハウス周囲には排水溝を設置する。

### 【秋まき小麦】

#### 1 融雪促進

雪腐病の軽減や生育期間確保のため、融雪材を散布して早期の融雪に努めましょう。特に、雪腐病防除が実施できなかったほ場では注意しましょう。また、停滞水が生じた場合には、溝切りにより速やかに排水しましょう。

### 【春まき小麦】

#### 1 ほ場準備

早期は種に向けて融雪促進でほ場の早期乾燥を図り、は種前に排水対策(心土破碎等)やpH矯正(pH6.0程度)など事前準備をしっかりと行えるようにしましょう。

#### 《明きよや高所からの転落に注意!》

明きよへの転落や構造物への接触に注意を払いながら作業を進めましょう。また、ほ場内でも場所によって積雪量や雪の硬さが異なります。

予期せぬ機械の沈み込み、走行時の変化にご注意ください。